

「誰か×誰か」「誰か×何か」の組み合わせが面白い。

落語 × 絵本

『上方落語こばなし絵本』
もりたはじめ／探話 講談社

第34回



原作『ブレイブストーリー』
宮部みゆき／著 角川書店

映画「ブレイブストーリー」
松たか子、大泉洋、常盤貴子、
ウエンツ瑛士／出演

落語を実際に聞いたことがなくて
も、なんとなく話は知っているという
人は多いのではないか。この
本は、落語のこばなしを絵本で簡単
に読むことができます。クスッと笑っ
てしまふものから、オチに納得する
ものまで、落語の面白さを大人から
子どもまで楽しむことができます。
本文は関西弁で書かれていて、と
ても軽快なしゃべりを感じられます
が、読んだらやっぱり落語家さんの
生のしゃべりを聞きに出かけたくな
るような1冊です。(坂井)



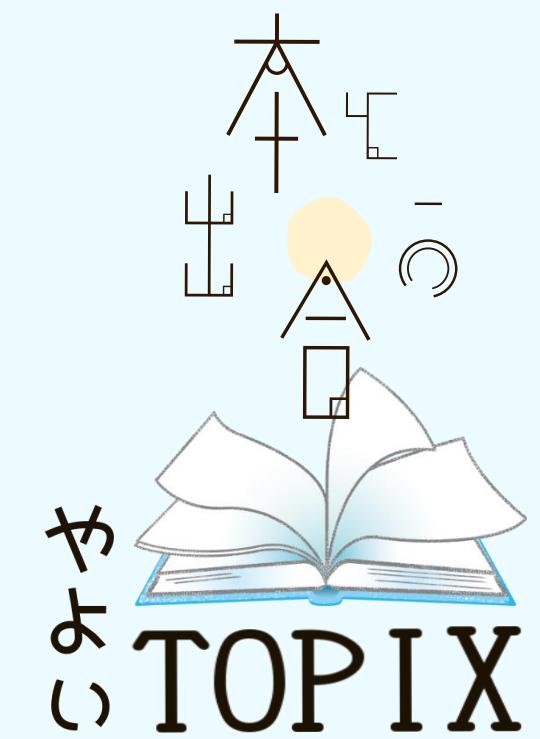
原作本から入っても良し、映画から入っても良し。

普通の小学生ワタル。しかし父親
が浮気相手と家を出ていき、母親は
倒れてしまう。ワタルは何でも夢が
叶えられると聞き、町の幽霊ビルの
異世界へとつながる扉をくぐる。
最初は見習い勇者として大した
装備も無いまま、冒險を始めるワタ
ルが様々な試練を乗り越えてどのように成長するのかが、見どころで
す。また、ワタル同様、願いのために
異世界に来ていた転校生のミツル。
しかし、願いを叶えられるのは異世
界に来た人のうち、1人だけ。2人の
うちどちらが願いを叶えられるの
か、ハラハラする展開が続きます。
主人公は子どもですが、彼の乗り
越える試練や心の動き方は大人で
も楽しめます。(大塚)
次回は『ハリー・ポッター』です。

館長が紹介する
「印象に残った一文」とは?



『乱談のセレンディピティ』
外山滋比古／著 扶桑社

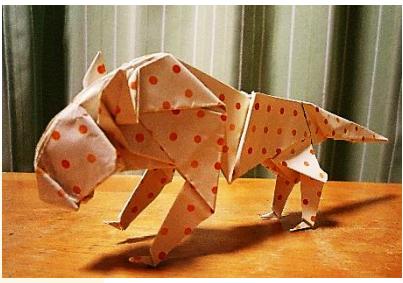


図書館職員がやってみました。

短編「紙の動物園」は、中国人の母
を持つアメリカ人の少年が主人公。
少年が泣いていると、母親は折り紙
で命を持っていくように動き回る動
物を作ってくれました。特に折り紙
の虎は、少年にとって唯一の友達で
した。物語ではクリスマスの包装紙
で作っていたので、私も家にあった包
装紙を引つ張り出し、いざトライ!
物語の雰囲気を伝えられるよう、な
るべく立体的な折り方を探し、「リ
アル折り紙」(福井久男／著 河出
書房新社)のトラを折ることに。30
cm四方の大きな紙で折りましたが、
やはり細かい部分は難しい…。命を
宿すような折り紙にはまだどうり
着けそうにありません。(丸山)



※本と実物を図書館内に展示しています。また、制作過程を
facebookにて公開しています。



Vol.12

『紙の動物園』
ケン・リュウ／著 早川書房

クイズにこたえて、
図書館でプレゼントをもらおう。

もんたい：節分の日に、鬼に投げる食べ物は？

① トマト ② にんじん ③ 豆

こたえ：

「本当に新しいことは、
談論風発の風に乗って飛来する。
それをとらえるのが英知である。」

『森永製菓のおやつにしましょ』
森永製菓株式会社／著
幻冬舎エデュケーション



記念日から見つける、とっておきの1冊。

130年以上前から、日本で愛され
続けているビスケット。様々なメーカー
の作り方が、日本に伝わりました。それを記念し、現在ではビスケ



こんな本もありますよ 『号泣する準備はできていた』
江國香織／著 新潮社

『かんたんでおいしい! 魔法のクッキング BOOK』
枝元なほみ／著 ポプラ社

セレンディピティとは、思いもかけない偶然の発見を意味する言葉で、主に科学の分野における発見について使われています。しかし著者は、文系の研究分野においてもセレンディ

ピティは起こる、そしてそれには、まったく専門外の人々との会話が有効である、と説いています。自身の経験に照らしながら、話すなら4~5人が良い、専門外の人と話すのが重要など様々なポイントが書かれて

います。図書館がこうした乱談の場

になり、新たな発見が生まれる場になつたらしいな、と思いながら読みました。(丸山)

トの作り方が、日本に伝わりました。それを記念し、現在ではビスケットの日と制定されています。

今月のテーマは、ビスケットです。1885年2月28日、長崎に滞在する外国人の間でのみ流通していたビスケットの作り方が、日本に伝わりました。それを記念し、現在ではビスケ